

3

生活委員長の市村さんは、「情報セキュリティ」の標語を参考にして、インターネットの使い方について全校生徒に考えてもらうための標語を作っています。次は、「情報セキュリティ」の標語を整理した【市村さんのノート】です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

【市村さんのノート】

「情報セキュリティ」の標語

(情報処理推進機構 第九回IPA情報セキュリティ標語コンクール 優秀賞作品)

*セキュリティ＝安全・防犯の意味

話すとき スマホ見ないで 私見て

メッセージ

A 話すときはスマートフォン画面を見ないで私を見てほしいというメッセージが伝わる。

B ← 私も以前話をしているとき、相手が私を見ずに、スマートフォンに夢中になっていて、寂しい思いをしたことがあった。人に不快な思いをさせないよう考えて使うことが大切だ、というメッセージが伝わる。

表現の工夫とその効果

- ・「見て」という呼びかけの形になっていて、作者の願いが読む者の心にまっすぐに伝わってくる。
- ・五・七・五のリズムが耳になじみやすい。

見えています あなたが書きこむ その言葉 画面の向こうで たくさんの目が

メッセージ

・自分の書き込んだ言葉や文章は、たくさんの人に見られているということを意識して、インターネットを上手に活用することが大事だというメッセージが伝わる。

表現の工夫と
その効果

・ **ア** を使っていることで、見られているという状況を、より強調している。
・ 「画面の向こうで たくさんの目が」の部分が、情景を想像しやすくしている。

楽しく使おうインターネット 軽く公開 深く後悔

メッセージ

・ネット上に軽い気持ちで公開したことが、個人情報や情報が広まってしまい、トラブルを招いて後悔につながる。インターネットは使い方を考えて楽しく活用したいというメッセージが伝わる。

表現の工夫と
その効果

・ 「公開」と「後悔」という同音異義語や、「軽く公開」「深く後悔」という対句が使われており、ごろがよくて覚えやすい。
・ 「楽しく使おう」と、呼びかけの形で始めることで、読む人の関心を引いているところがよい。

一 市村さんは【市村さんのノート】に、Aのように書きましたが、内容が不十分であると感じたので、Bのように直しました。市村さんが直すときに注意したこととして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 標語の言葉をそのまま使うのではなく、標語に直接書かれていない作者の思いを想像して書く。
- 2 標語の言葉をそのまま使うのではなく、標語の内容に関連する事柄を様々な方法で調べて書く。
- 3 標語の言葉をそのまま使うのではなく、この標語の優れている部分を他の標語と比較して書く。
- 4 標語の言葉をそのまま使うのではなく、日常生活の中で自分が体験したことと結びつけて書く。

二 【市村さんのノート】の ア に入る言葉として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 反復法
- 2 対句法
- 3 擬人法
- 4 倒置法

三 ネット上に軽い気持ちで公開したことが、個人情報が広まってしまい が正しくないことに気づき、書き直すことにしました。□に適切な一字を書き入れ、前後の部分が正しくつながるようにしなさい。

ネット上に軽い気持ちで公開したことが、個人情報←が広まってしまい

ネット上に軽い気持ちで公開したこと□、個人情報←が広まってしまい

四 市村さんは、次の【標語】を作りました。その後、メッセージがより伝わるように、「情報を守る 暗証番号」を、「わたしを守る ゴールキーパー」に書き換えました。書き換えた【標語】の「表現の工夫とその効果」を、次の条件1から3にしたがって書きなさい。

- 条件1 「表現の工夫とその効果」は、【市村さんのノート】を参考にし、表現技法の効果など、具体的に書くこと。
- 条件2 市村さんの作った【標語】の中の言葉を必ず使うこと。
- 条件3 四十字以上、六十字以内で書くこと。

【標語】

*パスワード＝コンピュータなどのシステムを利用する際、本人であることを確認するための符号。個人情報などの流出を防ぐ。

パスワード	情報を守る	暗証番号
	わたしを守る	ゴールキーパー

伝えたいメッセージ
・インターネット上では、個人情報が知られて困ることも考えられる。それを防ぐために、パスワードで情報を管理することが大事だ。
表現の工夫とその効果
・（四十字以上、六十字以内）